事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体 による評価	都道府県 による評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達成 率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
鹿角市 小坂町	かつの 農協	産地競争力の 強化	品質向上	土地利用型 (米)	稲作情報看板の設置 4ヶ所 稲作講習会の開催 3回	水田営農産地体制確立 協議会の開催 稲作情報看板設置による 啓発活動 稲作現地講習会の開催	稲作情報看板の設置 4ヶ所 稲作講習会の開催 3回	協議会の開催 1回 稲作情報看板の設置4ヶ所 水稲育苗管理講習会、栽培 管理講習会、水稲あぜ道相 談会の開催 3回	○	○	協議会において、関係機関の合意形成 が行われ、計画的な活動が実施で きたと思われる。この活動を踏まえて、 さらに、農家の技術の向上が図られた と思われる。	○	100%
鹿角市	かつの 農協	産地競争力の 強化	需要に応じた生産量の 確保	果樹	高品質生産のための技術 研修会を40人以上規模で 年2回開催	先進技術研修会の開催 出荷を目的とした現地講 習会等の開催 協議会の開催	高品質生産のための技術研 修会を42人、66人で計2回開 催	消費地動向調査 1回 出荷を目的とした現地講習 会等の開催 2回 協議会の開催 2回	○	○		○	100%
大館市	あきた 北農協	産地競争力の 強化	生産性向上	果樹 (りんご・和なし)	協議会開催2回 防霜・防風実証園設置 1カ所	あきた北果樹生産協議 会の開催 3回 防霜・暴風・降雹対策実 証補の設置 1カ所 気象災害被害予防・軽減 方法調査 1回 営農技術調査・農家意向 調査 各1回	協議会開催6回 防霜・防風実証園設置 1カ所	あきた北果樹生産協議会の 開催 6回 防霜・暴風・降雹対策実証補 の設置 1カ所 気象災害被害予防・軽減方 法調査 1回 営農技術調査・農家意向調 査 各1回	○	○	実証園の設置及び各種調査は概ね問 題なく行われ、十分な調査結果を得 た。また、協議会において果樹産地構 造改革計画の検討が行われ、担当者 による計画のひな型が作成された。こ れにより、H18年度には、部会での検 討を経た上で計画の申請が行われる 見通しとなっている。	○	100%
大館市	あきた 北農協	産地競争力の 強化	生産性向上	野菜(アスパ ラガス・ヤマノ イモ・きゅう り)	協議会の開催2回	協議会の開催2回 マーケティング調査の実 施1回 栽培暦の作成100部 実証園設置2ヶ所 栽培技術講習会開催1 回	協議会の開催2回	協議会の開催2回 マーケティング調査の実施1 回 栽培暦の作成200部 実証園設置2ヶ所 栽培技術講習会開催1回	○	○	技術講習会や栽培暦の作成をするこ とで、生産者の技術向上が図られた。 また、マーケティング調査では、市場 や量販店が欲しい規格等について情 報を得ることができ、アスパラについ ては、出荷先毎のニーズに対応した規 格の設定をして出荷できる体制を整備 できた。	○	100%
北秋田市 (鷹巣)	鷹巣町 農協	産地競争力の 強化	品質向上	土地利用型 (水稲・大豆)	協議会を2回開催 市場研修を1回開催	協議会の開催2回 市場研修の開催1回	協議会を3回開催 市場研修を1回開催	協議会の開催3回 市場研修の開催1回	○	○	協議会において、関係機関の合意形成 が行われ、計画的な活動が実施で きたと思われる。市場動向を踏まえ、 より生産に反映されたと思われる。	○	100%
北秋田市 (合川、森 吉、阿 仁)、上小 阿仁村	あきた 北農協	産地競争力の 強化	生産性向上	土地利用型 (水稲・大豆)	協議会を4回開催 水稲栽培履歴を2,000枚 ×2回作成配布 水稲減農薬栽培履歴を 1,000部作成配布	協議会の開催4回 水稲栽培履歴作成4,000 部 水稲減農薬栽培履歴作 成1,000部	協議会を4回開催 水稲栽培履歴を2,000枚×2 回作成配布 水稲減農薬栽培履歴を1,000 部作成配布	協議会の開催4回 水稲栽培履歴作成4,000部 水稲減農薬栽培履歴作成 1,000部	○	○	安全・安心な農業生産を推進するため 減農薬栽培暦を作成し、取り組む姿勢 は評価される。	○	100%
能代市 (旧能代 市、二ツ 井町、藤 里町)	あきた 白神農 協	産地競争力の 強化	生産性向上	土地利用型 作物	協議会2回実施 技術講習会2回実施 実証園3ヶ所設置	協議会の開催2回 技術講習会の開催2回 実証園の設置3ヶ所	協議会2回実施 技術講習会4回実施 実証園3ヶ所設置	協議会の開催2回 技術講習会の開催4回 実証園の設置3ヶ所	○	○	技術講習会等を通じて、技術の向上 につながったと思われる。	○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体 による評価	都道府県 による評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による評価	成果目 標の達成 率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
三種町 (旧琴丘 町、旧、 山本町、 旧八竜 町)、 八峰町 (旧八森 町、旧峰 浜村)	秋田や まもと 農協	産地競争力 の強化	品質向上	土地利用型 作物	産地体制確立協議会の開催2回 栽培技術講習会の開催6回 栽培履歴カード作成2,700部	産地体制確立協議会の開催2回 栽培技術講習会の開催6回 栽培履歴カード作成2,700部	産地体制確立協議会の開催2回 栽培技術講習会の開催9回 栽培履歴カード作成2,700部	産地体制確立協議会の開催2回 栽培技術講習会の開催9回 栽培履歴カード作成2,700部	○	○	安全・安心な農業生産を推進するため減農薬栽培栽培層を作成し、取り組む姿勢は評価される。農家への周知徹底を期待したい。	○	100%
三種町 (旧八竜 町)	三種町 (旧八 竜町)	産地競争力 の強化	需要に応じた生産量の確保	畑作物・地域 特産物 (そば)	・協議会の開催2回 ・実証圃2ヶ所設置 ・現地講習会の開催2回	そば振興協議会の開催 そば実証ほの設置 そば現地講習会の開催	・協議会の開催2回 ・実証圃2ヶ所設置 ・現地講習会の開催2回	協議会の開催2回 実証圃設置2ヶ所 現地講習会開催2回	○	○	協議会の開催により、取組の方向性を決定することができた。また、実証圃の設置により地元に適した作型等の選定ができたと思われる。	○	100%
八峰町 (旧八森 町)	八峰町 (旧八森 町)	産地競争力 の強化	生産性向上	鳥獣害防止	猿害防除啓発資料2000部 作成、配布	協議会の開催 実証ほの設置 猿害防除啓発資料 被害マップ及び作物調査 猟友会集中追い上げ ボランティア隊受入連絡員	被害状況を把握し、地区別 による防止対策の実施、猿 害防除啓発資料2000部作 成、配布	協議会の開催 実証ほの設置 猿害防除啓発資料 被害マップ及び作物調査 猟友会集中追い上げ ボランティア隊受入連絡員	○	○	農産物被害の悉皆調査のより被害状況を的確に把握し、追い上げ等の効率的な防止対策を講じた。継続的な追い上げの実施により危被害軽減に努めた。実証ほの成果より、被害防止対策のパンフレットを作成・配布し啓発に努めた。	○	100%
能代市 (旧能代 市)	あきた 白神農 協	産地競争力 の強化	輸入急増農 産物関係産 地対策	輸入急増戦 略(野菜)	実証圃の設置10ヶ所	協議会の開催1回 販売強化現地検討会の 実施3回 実証圃の設置10ヶ所 技術講習会の開催4回	実証圃の設置10ヶ所	協議会の開催1回 販売強化現地検討会の実施 3回 実証圃の設置10ヶ所 技術講習会の開催4回	○	○	協議会の開催により、取組の方向性を決定することができた。現地検討会の実施することで市場の評価や、ニーズを把握することができた。また、実証圃の設置や、講習会の開催により、新たな作型や、新規作付者の栽培技術のレベルアップにつながった。	○	100%
藤里町	藤里町	産地競争力 の強化	需要に応じた生産量の確保	地産地消(水 稻、野菜)	新商品開発検討会の実施 1回	協議会の開催 アンケートの実施 講習会の開催 新商品開発検討会の実施	新商品開発検討会の実施2 回	協議会の開催2回 アンケートの実施1回 講習会の開催4回 新商品開発検討会の実施2 回	○	○	協議会を開催し、アンケート結果等を反映させ、今後の地産地消に関する取組の方向性を設定することができた。新商品開発については、地場産の食材を活用したコンクールを開催した。また講習会を開催し、加工技術の向上を図った。	○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施 主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施 主体 による評 価	都道府 県による 評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達 成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
秋田市	JA新あきた	産地競争力の強化	生産性向上	土地利用型作物(水稲・大豆)	JA新あきた「こだわり米」の生産拡大 H17計画:2,000ha JA支部座談会 300集落 技術研修会 3回 栽培暦作成 6,000部	協議会の開催 6回 技術の普及 3回	JA新あきた「こだわり米」の生産拡大 H17実績:889ha JA支部座談会 300集落 技術研修会 3回 栽培暦作成 6,000部	協議会の開催 4回 技術の普及 3回	○	○	独自の販売戦略で土づくりなどにこだわった「こだわり米」が農家に周知された。	○	100%
由利本荘市・にかほ市	秋田しんせい農協	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型(水稲)	全作付面積のうち、高品質化(土づくり実証米)取組割合を65%とする。	協議会の開催(3回) 調査の実施(3種類) 稲作指導指針の作成、配布(14,000部)	全作付面積のうち、高品質化(土づくり実証米)取組割合が65.1%であった。	協議会の開催(3回) 調査の実施(2種類) 稲作指導指針の作成、配布(16,000部)	○	○	土づくり実証米は市場から高い評価を受けており、その拡大、定着が図られた。	○	100%
由利本荘市・にかほ市	秋田しんせい農協	産地競争力の強化	輸入急増農産物関係産地対策	輸入急増戦略(野菜)	業務用実需者との意見交換会の開催(1回)	協議会の開催(2回) 市場調査の実施(2回) 実証ほの設置(2カ所) 業務用実需者との意見交換会(1回)	業務用実需者との意見交換会を1回開催	協議会の開催(1回) 市場調査の実施(2回) 実証ほの設置(2カ所) 業務用実需者との意見交換会(1回)	○	○	ねぎ業務用に関する意見交換会を開催したことにより、新たな取引先を発掘し、販路の拡大が図られた。	○	100%
大仙市、仙北市、美郷町	秋田おぼこ農協	産地競争力の強化	生産性向上	土地利用型(水稲・大豆)	新品種大豆すずさやかの栽培技術確立(マニュアル作成2,000部)	協議会の開催 1回 調査の実施 1回 実証、試験の実施2箇所 啓発活動 2,000部	新品種大豆すずさやかの栽培技術確立(マニュアル作成3,000部)	協議会の開催 1回 調査の実施 5回 実証、試験の実施3箇所 啓発活動 3,000部	○	○	すずさやかの産地を拡大するため、技術の確立に積極的に取り組んでいる。	○	100%
横手市	秋田ふるさと農協	産地競争力の強化	生産性向上	土地利用型作物(水稲・大豆)	水稲直播栽培農家を15戸増加	①協議会等の開催 ②実証・試験等の実施 直播実証圃の設置 特別栽培大豆実証圃の設置 ③技術の普及 講習会等の開催 ④調査の実施 大豆・米実需者研修	水稲直播栽培農家15戸増加	①協議会等の開催 2回 ②実証・試験等の実施 直播実証圃の設置 2ヶ所 特別栽培大豆実証圃の設置 2ヶ所 ③技術の普及 講習会等の開催 1回 ④調査の実施 大豆・米実需者研修 3回	○	○	直播栽培を拡大するため、研修会、実証ほの設置に積極的に取り組んでいる。	○	100%
横手市(平鹿町)	秋田ふるさと農協	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畑作物・地域特産物(雑穀、アマランサス)	栽培暦の作成配布100部	現地検討会の開催 栽培暦の作成 実証圃の設置	栽培暦の作成配布100部	現地検討会の開催 3回 栽培暦の作成 100部 実証圃の設置 5ヶ所	○	○	実証圃を活用した現地検討会や栽培歴配布により技術の向上が図られた。	○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実 施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実 施主体 による評 価	都道府 県による 評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達 成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
横手市 (雄物川 町)	おものがわ農協	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物(水稻・大豆)	基盤整備により担い手農家に集積した大区画圃場に特別栽培米技術を農家20戸導入	①協議会の開催 産地強化推進協議会の開催 ②技術の普及 特別栽培米実証圃の設置	基盤整備により担い手農家に集積した大区画圃場に特別栽培米技術を農家68戸導入	①協議会の開催 産地強化推進協議会の開催 1回 ②技術の普及 特別栽培米実証圃の設置 1箇所	○	○	基盤整備を契機に特別栽培米の産地をめざしている。技術の早期確立を目指し、実証圃を設置した。	○	100%
横手市 (増田町)	増田町	産地競争力の強化	品質向上	果樹(りんご/さくらんぼ/もも)	有望品種の成木状況を20人以上規模での検討及び消費者試食アンケートを実施する。	果樹産地戦略協議会の開催 事業実施箇所検討会の開催 先進技術の習得・普及 啓発活動	有望品種の成木状況を43人で検討し消費者試食アンケートを実施した。	果樹産地戦略協議会の開催2回 事業実施箇所検討会の開催1回 先進技術の習得・普及3回 啓発活動 2回 樹園地再編計画書作成	○	○		○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	地産地消	地場農産物情報誌30,000部作成・配布	地産地消フェアの開催 地場農産物情報誌の作成・配布 生産者・消費者等交流会の開催 フォーラムの開催 伝統食セミナーの開催	地場農産物情報誌30,000部作成・配布	地産地消フェアの開催 年4回 地場農産物情報誌の作成・配布 年2回 各15,000部 生産者・消費者等交流会の開催 年1回 800人 フォーラムの開催 年1回 800人 伝統食セミナーの開催 年7回	○	○	計画通り地場農産物を紹介した「旬歳時記」30,000部を作成・配布した。こうした地場農産物に対する消費者ニーズ喚起に向けた取組が、地産地消全体の目標「農産物直売所の販売額の向上」に寄与したのと考えられる。	○	100%
秋田県	秋田県農業協同組合中央会	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	農業団体情報交換会 2回	農業団体情報交換会 2回	農業団体情報交換会 2回	農業団体情報交換会 2回	○	○	環境保全型農業に関する新しい情報を、多数の方に提供できた。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	飼料(飼料作物・大家畜)	展示ほの設置 3カ所	増産会議の開催3回 公共牧場再編整備検討会1回 奨励品種普及展示ほ3カ所 奨励品種比較試験5カ所 奨励品種技術浸透促進研修会及び検討会他3回	展示ほの設置 3カ所	増産会議の開催3回 公共牧場再編整備検討会1回 奨励品種普及展示ほ3カ所 奨励品種比較試験5カ所 奨励品種技術浸透促進研修会及び検討会他3回	○	○	県内3カ所(県北・中央・県南)に飼料用トウモロコシの奨励品種展示ほを設置するとともに、展示ほを活用した現地検討会を開催し、奨励品種の普及を図った。	○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実 施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実 施主体 による評 価	都道府 県による 評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達 成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	耕種作物活用型飼料増産(稲発酵粗飼料・大家畜)	推進協議会の開催 4回	推進協議会の開催 4回 飼料分析の実施 16検体 稲発酵粗飼料用稲種子増殖30a、1カ所	推進協議会の開催 4回	推進協議会の開催 4回 飼料分析の実施 16検体 稲発酵粗飼料用稲種子増殖30a、1カ所	○	○	稲発酵粗飼料の作付拡大及び利用促進、耕畜連携強化を図るための推進方策について検討を行うとともに、技術確立・定着のための情報収集・提供を行った。	○	100%
県全域	全国農業協同組合連合会秋田県本部、秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(乳用牛)	牛群検定加入率47%	【乳用牛群検定の普及定着化】 95戸 【乳用種雄牛後代検定の推進】 18頭 【乳用牛群検定普及定着化】 1回	乳用牛群検定加入率49%と2ポイント向上した。	【乳用牛群検定普及定着化】 91戸 【乳用種雄牛後代検定推進】 23頭 【乳用牛群検定普及定着化】 1回	○	○		○	100%
県全域	全国農業協同組合連合会秋田県本部	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	家畜導入頭数30頭	【家畜導入】 30頭	家畜導入頭数12頭	【家畜導入】 12頭	△	△	・他事業の利用により、家畜導入頭数の計画目標が未達成となった。事業実施主体に対しては、他事業の利用による導入頭数を十分に把握しながら計画を策定するよう指導していく。	△	50%
県全域	秋田県肉用牛価格安定基金協会	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(牛)	情報収集 1回	【家畜個体識別情報の活用促進】 ・調査指導 52回 ・畜産経営からの飼養管理情報の収集 1回	情報収集 1回	【家畜個体識別情報の活用促進】 情報収集 52回 畜産経営から飼養管理情報の収集 1回	○	○		○	100%
県全域	秋田県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖(養蜂)	転飼調整会議の開催 1回	【特用家畜振興推進】 ・転飼調整指導 1回 ・現地調査 1回	転飼調整会議を1回開催	【特用家畜振興推進】 転飼調整会議 1回 現地調査 1回	○	○		○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
全域	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(牛)	フィールド採卵の採卵成績の向上(5.0卵)	【受精卵移植普及定着化】 共同試験の実施 移植30頭 技術検討会の開催 8回 180人 巡回指導 72回	8.5卵/1採卵あたり	共同試験 移植30頭(受胎12頭) 技術検討会 13回113名 巡回指導72回	○	○		○	100%
県全域	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	種雄牛の選抜	【肉用牛改良増殖推進】 ・基礎雌牛産子調査 20人 ・検定牛購入 3頭 ・優良子牛生産推進 40頭 ・検定候補牛遺伝子型検査 20頭 ・肥育推進 54頭 ・専門技術他 25人	種雄牛1頭を選抜	【肉用牛改良増殖推進】 ・基礎雌牛産子調査 1式 ・検定牛購入 3頭 ・優良子牛生産推進 59頭 ・検定候補牛遺伝子型検査 148頭 ・肥育推進 41頭 ・専門技術他 20人	○	○		○	100%
県全域	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(肉用牛)	DNAマーカーによる連鎖解析を行い脂肪交雑種等の経済形質遺伝子座を明らかにする	【DNA育種基盤の確立】 ・DNA抽出 400頭 ・DNA型解析 100頭	DNAマーカーによる連鎖解析を行い脂肪交雑種等の経済形質に関する遺伝子座の抽出・解析した	【DNA育種基盤の確立】 ・DNA抽出 272頭 ・DNA型解析 161頭	○	○		○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体 による評価	都道府県 による評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による評価	成果目 標の達成 率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
秋田県	東北生乳販売 農業協同組合 連合会	産地競争力の 強化	生産性向上	生乳乳製品 流通(生乳)	生乳計画生産目標数量の 達成 34,650t	【生乳需給調整推進指 導】 販売委員会 4回 事業推進委員会 10回 実務者会議 4回 現地打合せ 6県×4回 機関誌発行 3回 【委託事業】 生乳需給推進者会議 3 回 酪農担当者会議 3回 生乳需給調整会議 4回 集送乳合理化会議 2回 農協担当者会議 12回 現地指導 60回 乳質基準等改善対策会 議 4回	生乳生産数量 35,246t	【生乳需給調整推進指導】 販売委員会 3回 事業推進委員会 7回 現地打合せ 81回 機関誌発行 4回 【委託事業】 生乳需給推進者会議 3回 酪農担当者会議 2回 生乳需給調整会議 5回 集送乳合理化会議 9回 農協担当者会議 1回 現地指導 28回 乳質基準等改善対策会議 2回	○	○	各会議等を通して、関係者への連絡を 密にすることにより、ほぼ生乳計画生 産目標が達成できた。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の 強化	需要に応じ た生産量の 確保	食肉等流通 体制整備(鶏 卵)	県鶏卵需給調整協議会の 開催 2回	生産量等調査 20戸× 2回 全国鶏卵需給調整協議 会 2回 県鶏卵需給調整協議会 2回	県鶏卵需給調整協議会の開 催 2回	生産量等調査 20戸×2回 全国鶏卵需給調整協議会 2回 県鶏卵需給調整協議会 2 回	○	○	生産量等調査をふまえ、定期的に需 給調整協議会を開催することにより、 県内鶏卵の生産・価格の安定をは かった。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の 強化	生産性向上	畜産生産基 盤育成強化 (乳用牛、肉 用牛、豚)	目標指導件数 105件 (個別指導85件、グルー プ指導20件)	【県酪肉近】 パンフレット作成 4,500 部 意向調査の実施 2,000 戸 【アクションプログラム】 支援チーム設置委員会の 開催 3回 【戦略的支援】 個別経営体指導 85戸 グループ型支援指導 2 回 指導相談窓口の設置 3カ所 地域情報提供整備 一 式 生産経営DBの構築 一式	指導件数 105件(個別指導 85件、グループ指導20件)	【県酪肉近】 酪肉近計画製本印刷 500 部 【アクションプログラム】 支援チーム設置委員会の開 催 3回 【戦略的支援】 個別経営体指導 85戸 グループ型支援指導 2回 (20件) 指導相談窓口の設置 3カ 所 地域情報提供整備 一式 生産経営DBの構築 一式	○	○	酪肉近代化計画を樹立するとともに、 関係機関連携の下、畜産農家に対す る個別及びグループ指導を行い生産 基盤の育成強化をはかった。	○	100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名:秋田県)

市町村名 (または 地区名)	事業実 施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実 施主体 による評 価	都道府 県による 評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達 成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	土地利用型(水稲)	水稲直播栽培指針の作成、配付	水稲直播栽培の作成、配付 800部 研修会の開催 2回 先進地調査 1回 アンケート調査 パンフレット作成 9,000部	水稲直播栽培指針の作成、配付	水稲直播栽培の作成、配付 800部 研修会の開催 2回 先進地調査 1回 アンケート調査 パンフレット作成 9,000部	○	○	直播栽培を推進するため、指導指針、パンフレットの作成、配付、研修会開催等を行い、面積拡大につながるなど、一定の成果を上げた。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	品質向上	果樹	新しい性木栽培技術を農家20戸導入	産地戦略協議会の開催 新品種・新技術導入研修会 新品種栽培技術指導及び現地調査	新しい生木栽培技術を農家52戸導入	産地戦略協議会の開催 1回 新品種・新技術導入研修会 2回 新品種栽培技術指導及び現地調査 2回	○	○		○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	野菜	作期拡大・省力化技術現地実証ほ設置(10力所)	メジャー等品目推進協議会開催 作期拡大、省力化技術現地実証圃設置 冬期野菜技術普及 指定産地等調査実施	作期拡大・省力化技術現地実証ほ設置(9力所)	メジャー等品目推進協議会開催 作期拡大、省力化技術現地実証圃設置 冬期野菜技術普及 指定産地等調査実施	○	○	野菜全体の伸びが停滞している中、メジャー品目等については着実に伸びを続けており、ブランド認証に対応する安定生産技術が定着してきている。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物・地域特産物	栽培技術指導8力所	調査の実施 技術普及	栽培技術指導8力所	調査の実施 技術普及	○	○	各地域振興局単位に特産の課題に対応した技術指導により、生産安定が図られている。	○	100%
秋田県	秋田県	産地競争力の強化	輸入急増農産物関係産地対策(監視品目等)	輸入急増戦略	産地強化計画を3産地で策定	調査の実施 技術普及 啓発活動の実施	産地強化計画を8産地で策定	調査の実施 技術普及 啓発活動の実施	○	○	輸入野菜に対抗するための構造改革への取り組みを進めるため、各産地が策定初年目から積極的に計画策定に取り組んだ結果である。	○	100%

※様式は「強い農業づくり交付金の事業評価の実施について」(平成17年10月3日付け17生産第3510号農林水産省大臣官房国際部長、農林水産省総合食料局長、農林水産省生産局長、農林水産省経営局長通知)別様式1-(1)に準じる。

- (注) 1. 取組名欄の( )内には、対象作物・畜種等名を記入する。
 2. 「評価」の欄は、成果目標の達成状況について、達成又は概ね(8割以上)達成されたと判断される場合は○、概ね半分(4割)以上達成されたと判断される場合は△、これ以下の場合は×を記入する。
 3. 複数の項目を成果目標として掲げている場合、成果目標の達成率は、それぞれの項目の達成率の平均とする。
 4. 地方農政局等において記入する成果目標の達成率については、○においては100%、△においては50%、×においては0%の達成率とする。